

会 議 録

1 会議名

第8回柿崎区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1)市からの報告（公開）

①頸北斎場の長寿命化に伴う修繕計画について

(2)協議事項（公開）

①懇談会の実施について

(3)報告事項（公開）

①会長からの報告

・地域協議会会長会議について

②みんなの保育園を考える会からの報告

③市からの報告

・諮問第80号に対する通知について

・平成30年度冬期道路交通確保除雪計画について

・平成30年度柿崎区における主な事業の進捗状況について

(4)その他（公開）

・第9回柿崎区地域協議会の開催について

3 開催日時

平成30年11月20日（火）午後6時から7時11分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 305～307会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：小出優子（会長）、金子正一（副会長）、薄波清美、太田健一、加藤満、佐藤健、白井一夫、武田正教、新部直彦、榆井隆子、引間孝史、湯本清隆、吉井一寛、渡邊征雄
- ・事務局：柿崎区総合事務所 滝澤良文所長、風巻雅人総務・地域振興グループ長、山田幸江産業グループ長、柳澤一幸建設グループ長、島岡聡市民生活・福祉グループ長、唐澤幸代地域振興班長、長井英紀主任、高野美希主事(以下グループ長はG長と表記)
健康づくり推進課 北島賢行課長、米山正浩副課長、木南加奈子保健衛生係長、新保武志主任

8 発言の内容（要旨）

【風巻G長】

- ・会議（地域協議会）の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明

【小出会長】

- ・会長挨拶
- ・会議録署名委員に薄波委員を指名

【小出会長】

市からの報告に入る。

事前に送付した次第の内容にはなかったが、健康づくり推進課から「頸北斎場の長寿命化に伴う修繕計画について」報告したいとの依頼があったので、急きよ追加した。

後半でも報告事項はあるが、木田庁舎から来られているので、最初に報告していただく。

【北島課長】

～資料により説明～

【小出会長】

委員から質問等はないか。

【吉井委員】

頸北斎場の長寿命化に伴う修繕計画の話が、今日、急に出てくるということに非常に疑問を感じる。来月でもよかったのではないか。

今日、資料を配って説明を受けて、質問はありませんかと言われても、この計画がこのままでよいのか考える時間が我々にはない。質問がなければこのままいくのか。

頸北斎場の問題は、我々地域協議会で、長寿命化をしてもらいたくて、市長に意見書を出して、長寿命化をするという返答をいただいている。その中で、今まで「火葬需要ピーク時まで」という言葉はなかった。今日、初めて「火葬需要ピーク時（平成47年～51年）」という数字が出てきたのではないか。

あらかじめこの資料をいただければ、今までの資料と照らし合わせる事ができた。この数字が出てきた背景があると思うので、どの時点でこの数字が出てきたのかを示していただきたい。また、このピーク時の数字は本当にここなのか。もっと早いのではないか。

質問をするだけの時間と資料が手元にない。質問をしたいかどうか分からないので、時間をいただきたい。

【北島課長】

なぜこの時期に突然こういったお話をするのかというご質問だったかと思う。12月の下旬に、議会の所管事務調査で、「整備方針案」を示させていただく。その時に、頸北斎場の修繕計画を記載しているので、事前に地域協議会の皆さんにお話をしていくのが、担当課としての役割だと認識している。

丁寧に、具体的に、修繕計画をきちんと立てて、頸北斎場は新しい新斎場とはきちんと切り離して残して、きちんと管理していくというところを、本日ご説明させ

ていただいた。

意見書の回答書の中に、「ピーク時」云々というところは何も謳っていないではないか、というお話であるが、「ピーク時」については、頸北斎場の建物が50年もつということで、平成4年に建てられた斎場なので、平成53年までとして整理させていただいた。

上越市の推計死亡者数を、国立社会保障人口問題研究所の推計方法によって推計すると、ピークが平成53年より前の47年から51年という推計値が出ている。斎場を新しく五智に建てるにあたって、亡くなる方の人数をつかんでいないと造れないので、5年おきに推計値を出している。

平成47年から51年の5年間の間は、年間2,762人でピークを迎えるという推計値が出ている。

【小出会長】

丁寧に対応したいというお気持ちで今回来られたということは分かったが、もう少し早くこれが渡っていれば、という吉井委員の意見についてはいかがか。

【北島課長】

所管事務調査を12月21日に予定していた。ここからさかのぼって、地域の皆さんへ説明に伺うスケジュールを立てさせていただいた。

また、12月になると、新しく建てる直江津地区地域協議会へ説明したり、地権者の皆さんに説明会を開いたりというところもあり、スケジュールを逆算した中で、ぎりぎりではあったが、柿崎や吉川の地域協議会にお願いして、早めにご説明させていただいた。

本来であれば1週間早く資料をお送りすればよかったが、資料の整っていないところもあり、この時期になったことをお許しいただきたい。今後、地域に入るときは、資料等も事前にお渡ししたいと考えている。皆さんの貴重なご意見を頂戴したので、課としてもきちんとさせていただきたい。

【金子副会長】

この斎場問題については、平成28年から29年にかけて、上越新斎場建設とい

うことで、頸北斎場の廃止あるいは存続について問題が浮上し、非常に長い間議論して頸北斎場の存続が決まった。その中で、合併特例債を利用して建設するということで、頸北斎場と上越斎場を合併しないと特例債が活用できないという説明があった。

今回、上越斎場が独自で特例債を活用できるというのは、どういう条件でクリアしたのか。

上越斎場の火葬炉が何炉になるのか、動物炉はあるのかというようなところは、正式の公表ではないからお答えできないかもしれないが、なぜそれが活用できたのか、説明をお聞きしたい。

【北島課長】

当時、合併特例債は統合斎場でなければ使えないという説明をした。その後、統合の斎場でなくなったが、なんとか合併特例債という優良な財源を使って、斎場を建てる方法はないのか、財政課と相談しながらこれまで進めてきた。

結論から言うと、合併特例債は一応使える、という回答を県からいただいている。その理由だが、地域の均衡ある発展という項目がある。柿崎の頸北斎場と、五智の上越斎場の、双方のバランスを維持するということで、前向きな回答をいただいている。

まだ正式に決まっているわけではないので、今は前向きな回答をいただいているといったようなお答えしかできないが、合併特例債で新斎場を建設させてもらいたいと考えている。

【金子副会長】

当時は廃止ありきでどんどん話が進んでいたが、いとも簡単に違う方法が見つかるというのが、少し納得いかない。

また、新斎場は当初の計画と同じくらいの規模になるのか。

【北島課長】

規模について、当時は統合の斎場を建設ということだったが、今回新しく新上越斎場を造るにあたっては、頸北斎場が残るということを前提に造るので、規模

は縮小する予定である。

柿崎にも頸北斎場があつて、新しく造る上越斎場もあるので、双方の斎場が、均等にバランスよく稼働できるような使い方をしていきたいとしたが、「合併後の市町村の均衡ある発展に資するために行う公共施設の整備事業」という条件になかなか合致せず、今、簡単に答えているように聞こえているかもしれないが、斎場のバランスや使い勝手とか、1日何回使うかという数字を出しながらなんとかこの条件に合致し、前向きな回答をいただけたというところである。

【小出会長】

ほかにいかがか。

特にないようなので、これで質問は終わらせていただく。

【小出会長】

健康づくり推進課の皆さんからは退席していただく。

(2) 協議事項に入る。

懇談会の実施について、金子副会長から資料No.1について説明していただく。

【金子副会長】

懇談会の実施について、11月1日に懇談会実施委員会を開催した。内容について、資料No.1に基づいて皆さんに報告し、意見をお聞きしたい。

～資料No.1により説明～

これについて皆さんから、ご意見、ご質問をいただいた中で決定させていただきたいと思うが、何か意見や要望はあるか。

【渡邊委員】

内容だが、頸北斎場の問題は、懇談会の中で一番重要な問題ではないか。これから議会があつたり、色々推移があると思うが、また新たな方向性が出たりする、

内容についての問題点としていかがか。

【金子副会長】

斎場は存続するという状況で、さらに地域の皆さんの意見を聞くというのは、どういう問題提起の仕方になるのか。前は、廃止されるか存続されるかということで、地域フォーラムも開いて住民の意見を聞いたが、今回は、まだ経過を見ないとどういうふうにしていいのかわからない。

上越斎場はこういう規模で、柿崎の頸北斎場は平成53年まで長寿命化で維持していくと、そういう報告はできるが。

【佐藤委員】

一応住民には、頸北斎場は存続しますと報告してあるので、ここで新たに報告する必要はないと思う。

【楡井委員】

今回の懇談会の目的は、「地域の交通を考える会」と「みんなの保育園を考える会」に対して、皆さんの意見を聞きたいということなので、今回の懇談会に関しては目的がぼけないほうがいいと思うし、その他という内容を設けてあるので、それ以外で意見があるならそこでお聞きする、という形でよいと思う。

【金子副会長】

今回はこの二つに重点を絞って行いたいので、よろしくお願いします。

【小出会長】

では、(3) 報告事項に入る。

会長からの報告ということで、地域協議会会長会議について報告する。

11月14日に、学びの交流館で会議を持った。

私たちがアンケートに答えて出した中で、市から「地域活動支援事業の目的・効果に照らした見直しについて」ということで説明をしていただいた。

このことについては、12月の地域協議会で、柿崎区の支援事業の方針などと

照らし合わせ、まとめていただいて、皆さんに資料をお配りすることになっている。

その後のグループ単位の意見交換では、支援事業のほかに、それぞれの地域で抱えている問題などを出して協議をした。皆さんからは少子化などの意見が出ていたが、地域協議会だけで対応できるものではない、というような意見もあった。

【佐藤委員】

せっかく上越地区の地域協議会の会長会議があったのだから、せめてこういう内容がありました、というくらいの資料を添付してもらわないと、口頭での報告のみでは分からない。

【滝澤所長】

今、会長から概要の報告をいただいたが、この会長会議については、事務局である市の方でも、議事録そのものを今整理している。また、その中で議論された内容について、当日会長さんたちにお配りした資料に、ご意見を踏まえた修正が進められている。

今日までにそれが揃えばお手元にお配りしたいところであったが、今後12月までにはその資料、さらに議論していただいた柿崎区の意見、そういう資料をまとめて事前に送付させていただく。そのうえでお話をしていただきたいと、事務局としても会長にお願いをした経緯があるので、ご理解をいただければと思う。

また、スケジュールについて少しフォローさせていただく。

【風巻G長】

会長会議の、地域活動支援事業の目的・効果に照らし合わせた見直しについて、市の案・見解が出されたので、11月14日の地域協議会会長会議で配布されている。

今、一部手直しをしているところである。会長会議で配布された資料については、全て今月中に地域協議会委員の皆様の方に送付させていただく。あわせて、柿崎区の地域協議会で行った地域活動支援事業の検証・検討結果のまとめについても、一緒にお送りさせていただく。中をよく見ていただいて、12月の地域協

議会で柿崎区としての検証・検討結果のまとめをお願いしたいと考えている。今年度は、地域活動支援事業の目的・効果に照らし合わせた見直しを行った関係で、例年より約ひと月、地域活動支援事業のスケジュールが遅れている。

12月の地域協議会で検証・検討結果のまとめが終わったら、12月の地域協議会の中で地域活動支援事業の検討委員会や、まちづくりフォーラムの実行委員会の立ち上げ等についても検討いただいて、その場で決めていただきたいと思います。

それぞれの検討委員会・実行委員会で協議をしていただき、その後の1月の地域協議会で柿崎区としての採択方針・審査にあたり定める事項等を決定していただきたいと思います。スケジュールについても資料をお送りする際に、スケジュール案として同封させていただく。

1月の地域協議会で採択方針等が決まらなると、柿崎区のフォーラムの開催も難しい状況になってくるので、詰まった日程になっているがなんとかご協力をいただいて、ご審議をいただきたいと思います。

【吉井委員】

今、子細な説明があったが、そのスケジュールでいくと非常にタイトだと思う。12月に地域協議会で二つの委員会を立ち上げ、1月の間に来年の支援事業のあり方を決めなくてはいけない。

その委員会は重要な委員会になるので、先ほどの斎場の問題ではないが、もっと早くやってもらわないと非常に厳しい。

地域フォーラムの委員会も1か月の間にやらなくてはならない。我々16人のメンバーで、正月を挟んで委員会を立上げ、結論を出して、1月の地域協議会で決定しなくてはならない。

12月の地域協議会が非常に大事だと思うので、スケジュールだとか資料をなるべく早く送ってもらって、我々にも12月の地域協議会の前に準備期間をいただきたい。よろしく願います。

【風巻G長】

無理なお願いをして大変申し訳ない。資料については、今月中に送付させてい

ただく。

【小出会長】

みんなの保育園を考える会からの報告をお願いします。

【薄波委員】

先日11月15日、みんなの保育園を考える会から提案した関市板取めばえ保育園への視察に、多くの委員さんに参加していただき、ありがとうございました。総合事務所の皆様には準備やバスの手配などをお世話になり、ありがとうございました。おかげさまで、有意義な視察研修となった。

今後は、板取めばえ保育園のケースを参考にしながら、当委員会では、年度末に行われる懇談会のための準備に今入っているところである。

【小出会長】

③市からの報告、諮問第80号に対する通知について、総務・地域振興G長から報告をお願いします。

【風巻G長】

資料No.2の通知の写しをご覧いただきたい。

～資料No.2により報告～

【小出会長】

次に、平成30年度冬期道路交通確保除雪計画について、建設G長から報告をお願いします。

【柳澤G長】

このたび今冬の除雪計画がまとまったので、委員の皆様にご報告させていただきます。

～資料N o . 3、別冊により説明～

【小出会長】

引き続き、平成30年度柿崎区における主な事業の進捗状況について、総務・地域振興G長から順番に、各グループの報告をお願いします。

【風巻G長】

平成30年度、柿崎区における主な事業の進捗状況についてご覧いただきたい。

～資料N o . 4により報告～

教育・文化G長が校長会で欠席のため、総務・地域振興G長が代理で報告

【小出会長】

市からの報告は以上である。

その他に移る。委員の皆さんから何か発言はあるか。

【小出会長】

特にないようなので、事務局から配布物の説明をお願いします。

【唐澤班長】

- ・配布物の説明

【小出会長】

- ・第9回柿崎区地域協議会の開催について

日 時：平成30年12月18日（火）午後6時～

会 場：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

- ・閉会を宣言

（午後7時11分閉会）

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。